

◎礼拝説教：2020年6月7日

◎説教者：中村準一 牧師

◎タイトル：神の信頼に応える信仰

◎今日の聖書：ヨブ記2章1-10節

1またある日、主の前に神の使いたちが集まり、サタンも来て、主の前に進み出た。2主はサタンに言われた。

「お前はどこから来た。」

「地上を巡回しておりました。ほうぼうを歩きまわっていました」とサタンは答えた。

3主はサタンに言われた。

「お前はわたしの僕ヨブに気づいたか。地上に彼ほどの者はいまい。無垢な正しい人で、神を畏れ、悪を避けて生きている。お前は理由もなく、わたしを唆して彼を破滅させようとしたが、彼はどこまでも無垢だ。」

4サタンは答えた。

「皮には皮を、と申します。まして命のためには全財産を差し出すものです。5手を伸ばして彼の骨と肉に触れてごらん下さい。面と向かってあなたを呪うにちがいありません。」

6主はサタンに言われた。

「それでは、彼をお前のいいようにするがよい。ただし、命だけは奪うな。」

7サタンは主の前から出て行った。サタンはヨブに手を下し、頭のとっぺんから足の裏までひどい皮膚病にかからせた。8ヨブは灰の中に座り、素焼きのかけらで体中をかきむしった。

9彼の妻は、

「どこまでも無垢でいるのですか。神を呪って、死ぬ方がましでしょう」と言ったが、10ヨブは答えた。

「お前まで愚かなことを言うのか。わたしたちは、神から幸福をいただいたのだから、不幸もただこうではないか。」

このようになって、彼は唇をもって罪を犯すことをしなかった。

◎宣教

序章(1, 2章)は、天上における神とサタン(告訴人)との対話から、ヨブに苦難が降りかかる展開である。サタンは憎悪を持ってヨブの信仰を挑発し、神に告訴するのである。一回目の苦難の時「わたしのしもべヨブ」と主が呼ぶほど、神の信頼に応える信仰を示し、サタンの試み挑発は失敗に終わった。だがサタンは再び主の前に現れる。主はサタンに言われた「お前はわたしをそそのかして、何の理由もないのに彼を滅ぼそうとした」と。だがサタンは主に、改めて、ヨブの信仰の打算・弱さを主張する。「いかなる人間も理由なしに神を信じることができましようか」と、サタンは再びヨブを打つことで、そのことを証明しようと試みるのだ。今回は、彼自身の健康を奪い取ることを提案し、主の許

可を得る。その結果、ヨブは足の裏から頭の頂きまで、悪性の腫物（皮膚病）に苦しみ、灰の中（ゴミ捨て場）に座り、土器のかけらで自分の体をかきむしる。もはや人とは思えないほどの姿となった。そんな夫を見て彼の妻はヨブに言った。「それでもなお自分の誠実を堅く保つのですか。神を呪って死になさい」だが彼は妻の挑発に対して「お前は浅はかな女どもの一人のように喋った。私たちは神から幸せを受けたのだから、この災禍をも受けるべきではないか」このようにヨブは自分の身に起こった一連の出来事でも、神を呪うことを一切せず、この状況を甘受したのである。こうして二回目の苦難においても、ヨブは神の信頼に応える信仰を貫き、サタンの挑発・試みは、またしても失敗に終わったのである。